

電子顕微鏡を用いた簡便・迅速な壊機試験の確立

1. 研究の対象

2022年7月～2025年3月に当講座で法医解剖となった方

2019年以後に当講座で法医解剖となり、ホルマリン固定された臓器が残されている方

2. 研究目的・方法・期間

壊機試験は肺等の臓器から珪藻を検出する検査法で、死因が溺水による窒息かどうかを判断するために使用します。これまでの方法では時間がかかり、高価な試薬が必要でしたが、この研究では市販品を使用して、短時間で珪藻を検出できないかを検討します。

研究期間は学校長承認後から2025年3月31日までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：死因、死後経過時間、発見された場所、年齢等

試料：肺、肝臓、血液等

4. 研究に用いる試料・情報の管理者

試料・情報の利用については、研究用のID番号を作成し、直ぐには個人を特定できないように加工したもの（仮名加工情報）を作成します。作成時の情報については研究責任者が厳重に管理します。また、加工後の情報についても、この研究に参加する研究者のみで利用します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて亡くなった方の御遺族にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも亡くなった方に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校法医学講座・細谷直

資料 3

埼玉県所沢市並木三丁目 2 番地

電話番号:04-2995-1583

対応時間：月曜日から金曜日の午前 9 時から午後 5 時まで（祝日を除く）

E-mail:hosoya-t@ndmc.ac.jp

研究責任者：

防衛医科大学校法医学講座・金武潤